

# 新川水土里たより

第22号

新川農林振興センター農業農村整備広報・広聴連絡会 〒937-0863 魚津市新宿10-7 0765(22)9137【指導課】  
★管内の情報★ <https://www.pref.toyama.jp/sangyou/nourinsuisan/nougyou/niiikawa/index.html>

農業者の方々をはじめ、関係の皆様方には、日頃より当センターの事業推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、農業を巡る情勢については、米価の低迷に加え、燃料費や農業生産資材費の高騰など、一段と厳しさを増しています。また、農業者の高齢化が進展しており、今後、農業就業人口の急激な減少が危惧されています。こうした中、県においては、持続可能な「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現を目指し、本年3月に新たな



## 管内農業・農村の持続的な発展に向けて

所長 西村 聡

「富山県農業・農村振興計画」(目標年次…令和13年度)を策定しました。当センターでは、この振興計画にもとづき、高品質な米生産と水田での園芸作物の振興、新規就農者等の人材確保など、ソフト・ハードの両面からの取り組みを進めています。

具体的には、うるち1等米比率95%以上の確保をはじめ、本格デビューから5年目を迎える「富富富」の良食味栽培技術の定着、野菜等の高収益作物の導入、スマート農業による省力化などを推進しています。また、生産コストの低減のための農地の大区画化や暗渠排水による汎用化、老朽化した用排水施設や頭首工の改修など、水田農業の生産基盤である農地・水利施設の計画的な整備を実施しています。

更には、近年、豪雨・猛暑などの極端な気象が頻発している

「農事組合法人ふながわ」及び「有限会社チュリストやまざき」(朝日町舟川新地区)が、農業農村整備優良地区コンクールの中山間地域等振興部門において、最高賞である農林水産大臣賞を受賞されました。本コンクールは、農業農村整備事業を契機として、豊かで競争力のある農業や美しく活力のある農村の実現に取り組んでいる地区を表彰するものです。

本地区は、県営農地整備事業「舟川新地区」の事業化を契機に、農地の大区画化を活かした

## 農林水産大臣賞受賞 朝日町舟川新地区

■農村地域防災減災事業  
長引野地区(魚津市)

本地区は、山腹を通る水路であるため、斜面の崩壊による土砂や枝葉の流入に伴い、水路閉塞による溢水被害の危険性がありました。

このことから、蓋掛けなどの暗渠化により、溢水被害を防止するとともに、蓋掛け上部を管理道路とすることで水路の維持



■農村地域防災減災事業  
双子池地区(魚津市)

本ため池は、堤体の余裕高や洪水吐水路の断面が不足していたことから、ため池の破堤による災害の危険性がありました。

このことから、ため池堤体や洪水吐水路、取水施設の改修を行い、下流の民家等への災害を未然に防止し、営農の安定化を図りました。



■農村地域防災減災事業  
新川地区(黒部市)

本地区は、ため池の統合により農業用水として利用されなくなったため池において、破堤による下流施設等への土石流等の災害の危険性がありました。

このことから、ため池堤体を開削し、貯留機能を喪失させるとともに、上流からの流入に対して流路工により安全に流下させることで、下流施設等への災害の未然防止を図りました。



管理労力の軽減を図りました。

フェイスブック  
やっています!

「とやま水土里探訪ブログ  
(富山県農村整備課)」  
<https://www.facebook.com/toyama.nousonsebi>

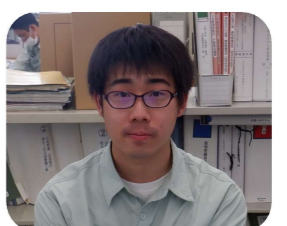
農村整備課水利防災班に配属になりました山岸です。農業土木についてわからないことが多いですが、実際に現場に同行させて頂き、先輩方に教えてもらいながら学んでいきたいです。そして、早く仕事に慣れて、仕事を任せていただけるよう日々成長していきたいです。

富山県の農業の発展に役立てるよう責任をもつて頑張ります。よろしくお願いたします。



やまがし かずや  
山岸 和矢 技師  
農村整備課  
水利防災班

## 新規採用職員紹介



つかだ とわ  
塚田 永遠 技師  
農村整備課  
農地整備第二班

農村整備課農地整備第二班に配属となりました塚田永遠です。高校から土木について学んできましたが、農業土木についてはわからないことばかりです。しかし、班の先輩方のお手伝いや、現場へ同行しながら、日々学習しています。

これからもいろいろな経験をしていく中でたくさんの方の学び、一日でも早く県職員として富山県に貢献できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

令和4年度が始まりました。相変わらず新型コロナウイルスと付き合いつながりの生活が続いていますが、皆様との対話を大切に業務を進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

【クタバ】

事故にあわないための  
**5つの心がけ!**

「自分は大丈夫」との意識を改め、余裕を持った行動を!

高齢者・子供たちとコミュニケーションをとって、家庭内でも声かけを!

慣れた道でも、水路沿いは安全確認!

草刈りや、水管理など一人での作業は極力避ける、周囲からの声かけて!

水路は昼と夜で危険度が違う、暗いところは特に注意!

するなど継続的な取組みを実践し事故防止意識の定着を図るとともに、危険箇所を把握し、地域の実情やニーズに応じて必要な転落防止柵・鉄筋網の設置や視認性向上対策などを実施することで、未然に事故の防止を図ることとしています。

しかしながら、依然として高齢者の事故が多いことから、高齢者への更なる周知・啓発の強化が必要となっています。引き続き、事故防止に向けて市町や土地改良区などの関係機関職員の方々のご協力をお願いいたします。

また、管内では残念ながら昨年度の死亡事故件数を既に上回っています。事故にあわないための「5つの心がけ」を地域の皆様にお願いととも、家庭

**農地整備事業**  
南保北部地区 (朝日町)  
昭和44年から55年にかけて団体営ほ場整備事業「南保北部地

**用水路の破損状況**

総事業費:480百万円  
事業内容:用水路工 5,515m  
排水路工 1,110m  
区画整理工 5.4ha  
工期:R4~R9  
担当:農地整備第二班

**新規地区紹介**

**農地整備事業**  
大布施北部東地区 (黒部市)  
昭和48年から52年にかけて団体営ほ場整備事業「黒部北部地区」で整備された用排水路の更新整備及び一部農地の大区画化を行います。

農地集積・集約化を図るとともに、「にんじん」、「さといも」等の収量・品質向上を図ります。

内や地域の方々にも注意を呼びかけていただきますようお願いいたします。

**既設水路の状況**

総事業費:450百万円  
事業内容:用水路工 1,637m  
工期:R4~R7  
担当:水利防災班

**農村地域防災減災事業**  
新開用水地区 (黒部市)  
山側法面の崩壊に伴う下流の

区、「南保南部地区」、「南保越地区」で整備された用排水路の更新整備及び一部農地の大区画化を行います。

農地集積・集約化を図るとともに、「えごま」や「さといも」等の収量・品質向上を図ります。

**水路の劣化(豆板)状況**

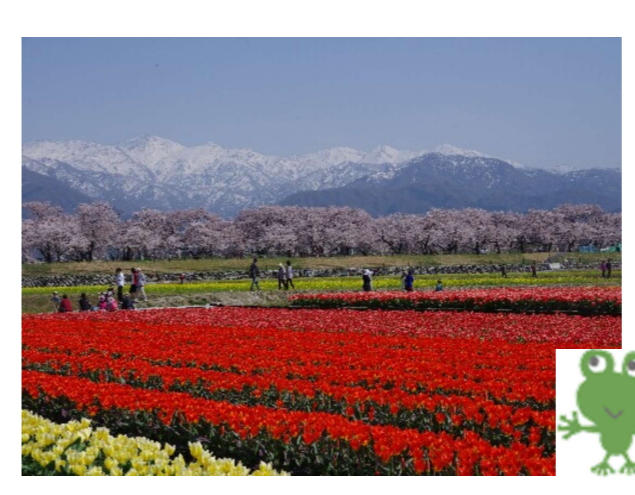
総事業費:570百万円  
事業内容:用水路工 5,112m  
排水路工 3,324m  
区画整理工3.6ha  
工期:R4~R9  
担当:農地整備第一班



**完了地区紹介**

**農地整備事業**  
荻生南部地区 (黒部市)  
本地区は、昭和45年から63年にかけて30a区画で整備されましたが、完成から40年以上経過しており、施設の老朽化による維持管理労力の増大や高齢化による労働力の確保に苦慮していました。

本地区では農業用排水路の改修に加えて、一部農地で暗渠排水を実施することで、維持管理の低減や担い手への農地集積が進み、効率的な営農が進められています。



スマート農業を積極的に導入し、また営農の利便性が向上したことで6次産業化にも力を入れ、新たな商品を数々生み出しています。

さらに景観形成を農業経営の柱として「春の四重奏」を生み出し、景観を守り発展させるため地域を越えた協力体制を確立しました。

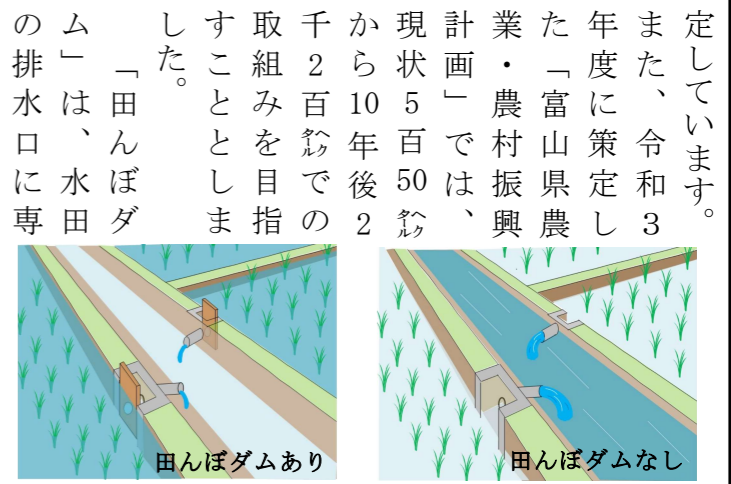
今後も、儲かる農業を実践し、世界に誇れる景観作りを継続すること、地域住民のやりがいと地元への愛着を醸成し、より活力ある農業・農村の実現を目指します。

**「田んぼダム」の取組みが始まります**

近年、豪雨による洪水が多発していることにより、田んぼダムが注目されています。これまでに、降雨範囲は広域に亘る場合が多く、ゆっくりと河川へ流出する状況でしたが、「線状降水帯」に代表される局所的かつ猛烈な豪雨が長時間続くことにより急激な河川の増水が見られるようになりました。

こうした豪雨により、令和元年東日本台風では長野県の千曲川が氾濫し、北陸新幹線の車両が水没する事態が発生したほか、令和2年7月豪雨では熊本県の球磨川が氾濫し、甚大な被害が発生したなど、記憶に新しいところですが。

防災・減災の対策が進められる中、国土強靱化年次計画2020では流域治水を推進するための「田んぼダム」が位置づけられるとともに、土地改良長期計画においても「田んぼダム」の取組み面積を現状の約3倍以上(約4万鈔)とする目標を設定



定めています。

また、令和3年度に策定した「富山県農業・農村振興計画」では、現状5百50鈔から10年後2千2百鈔での取組みを目指すこととしました。

「田んぼダム」は、水田の排水口に専用の排水槽や、流出を絞るセキ板を設置することで、豪雨による流出のピークをカットする取り組みです。このことにより、洪水による浸水区域が減少する効果があります。

一方、「田んぼダム」を実施することによる営農への心配もあります。国で行ったシミュレーションで、条件によっては百年に1回の確率雨量でも田面水深は20cmを超えない結果となつたほか、水稲で湛水被害が最も生じやすい穂ばらみ期(7月)

**用水事故に注意!**

8月)では草丈が30cm以上あり、畦畔の範囲内で貯留が可能であるなど品質や収量に影響が無いと考えられています。

今後、新たにほ場整備事業を実施する地区においては、積極的に「田んぼダム」に必要な排水槽を設置していきたいと考えております。受益者や耕作者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

県内における農業用水路の転落死亡事故は、平成24年度から令和3年度までの10年間に2百件発生しており、うち65歳以上の方が8割以上を占めています。

令和3年度においては、22件の死亡事故が発生しており、うち65歳以上の方が21件となっています。

県内で多発する転落事故に対し、注意喚起チラシの配布、市町広報誌への掲載や地域住民が危険箇所を点検するワークショップを開催

